

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年03月14日

計画の名称	第2期おかざき下水道強化計画（防災・安全）（重点計画）													
計画の期間	令和07年度 ～ 令和11年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	岡崎市													
計画の目標	都市の浸水対策および下水道施設の地震対策を行い、命と暮らしを守る事前防災・減災を促進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		8,360	A	8,360	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7	R9	R11
1	下水道総合地震対策計画に基づく下水道の重要な幹線について機能確保率を51.0%（R7）から64.9%（R11）に向上させる。			
	下水道総合地震対策計画に基づく災害（地震）時における機能確保率	51%	57%	65%
2	避難所にマンホールトイレを整備することで災害時の使用可能人口の割合を67.0%（R7）から71.4%（R11）に増加させる。			
	下水道事業計画区域内の広域及び一時避難所における災害時の使用可能人口の割合	67%	69%	71%
3	都市浸水対策達成率（1/5規模の整備率）を87.0%（R7）から87.3%（R11）に増加させる。			
	都市浸水対策達成率（1/5規模の整備率） 概ね5年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全な下水道整備が完了している区域の面積の割合＝（1/5確率降雨相当の雨水整備完了面積（ha））／（1/5確率降雨相当の雨水整備を実施すべき区域の面積（ha））	87%	87%	87%
4	耐水化計画に基づくポンプ場の揚水機能確保率を25%（R7）から100%（R9）に増加させる。			
	耐水化計画に基づくポンプ場の揚水機能確保	25%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	○	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 汚水）	新設	下水道総合地震対策事業	災害対応トイレ整備	岡崎市	■	■	■	■	■	70	—	
		下水道総合地震対策計画																	
	A07-002	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 雨水）	新設	通常の下水道事業（浸水 対策）	雨水管整備	岡崎市	■	■	■	■	■	2,228	—	
	A07-003	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	—	—	内水浸水リスクマネジメ ント推進事業	雨水管理総合計画の策定	岡崎市	■	■	■	■		110	—	
	A07-004	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ 場	改築	下水道ストックマネジメ ント支援制度	ポンプ場改築	岡崎市	■	■	■			327	策定済	
		ストックマネジメント計画																	
	A07-005	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ 場	改築	通常の下水道事業（浸水 対策）	ポンプ場耐水化	岡崎市	■					73	—	
A07-006	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	—	改築	下水道総合地震対策事業	計画策定、耐震診断	岡崎市		■	■			350	—		
	下水道総合地震対策計画																		
A07-007	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 合流）	改築	下水道総合地震対策事業	管渠耐震対策	岡崎市	■	■	■	■	■	1,322	—		
	下水道総合地震対策計画																		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-008	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 汚水）	改築	下水道総合地震対策事業	管渠耐震対策	岡崎市		■	■	■	■	3,090		－
		下水道総合地震対策計画																	
	A07-009	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 雨水）	改築	下水道総合地震対策事業	管渠耐震対策	岡崎市		■	■	■	■	790		－
		下水道総合地震対策計画																	
											小計						8,360		
											合計						8,360		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	0				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 第2期おかざき下水道強靱化計画（防災・安全）（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画（流域別下水道整備総合計画等）と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
②岡崎市下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
③関連する他事業の計画（矢作川流域下水道等）と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
④各種事業計画（総合地震対策計画、ストックマネジメント計画等）が策定され、適合している。	○
I. 目標の妥当性	
⑤各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。	○
I. 目標の妥当性	
⑥地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
②指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
①長期的収支計画の見通しが健全と判断される。	○
III. 計画の実現可能性	
②関係機関との協議、住民等の合意形成等を踏まえて事業実施の確実性が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
③その他、事業実施のための環境整備が図られている。	○